

令和八年学力検査

全日制課程

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第
	番



◇M1(030-1)

※著作権の関係上、表示していません。

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

国語

※著作権の関係上、表示していません。

※著作権の関係上、表示しておりません。

※著作権の関係上、表示しておりません。

(注)

- **1** **6**は段落符号である。
- アマチュア¹ここでは、その事に経験が浅く、専門的ではない人。
- スナップ写真²対象を手早く撮影した写真。
- フラット³ここでは、対等であること。
- フォロワー⁴SNSで、ある投稿者に注目している人。
- バックグラウンド⁵背景。

- マーケティング市場調査や広告宣伝などによって市場拡大を図る企業活動。
- 標準化品質、形状、寸法を基準に従って統一すること。
- 表象ここでは、形に現すこと。
- 大山頭写真家。一九七二。
- 佐藤卓己社会学者。一九六〇。
- コントラスト最明部と最暗部の明るさの差。
- 羨望うらやましく思うこと。
- フィードアプリを起動した際、最初の画面に流れる投稿一覧。

(一) 「A」「B」には同じことばが入る。その最も適当なこと

- ア それゆえ イ だが ウ つまり エ また

(二) ① かつてのプロとアマとの間に存在したような「住み分け」や違いは不透明になっているとあるが、筆者がこのように考える理由として

最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア SNS内では写真そのものの出来ばえよりも、フォロワーの数や「いいね」の数などで評価されるようになったから。

イ デジタル化によって誰でも鮮明な写真が撮影できるようになり、撮影者による写真の出来ばえに違いがなくなったから。

ウ 撮影者が誰であるかということや撮影の目的にかかわらず、SNS内や出版物に写真が掲載されるようになったから。

エ デジタルメディアを使えばすぐに写真を共有できるため、プロに撮影を頼むことがおおげさに感じられるようになったから。

(三) 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのアからエまでのの中から選びなさい。

つまり、「データ素材としてどのような加工もできるデジタル写真は、記録のメディアというより表現のメディア」となったのである。

- ア 本文中の〈1〉
- イ 本文中の〈2〉
- ウ 本文中の〈3〉
- エ 本文中の〈4〉

(四) この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからエまでのの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 一般的な考えを紹介したのち、それへの反論を述べることで自分の立場を説明している。

イ 立場の異なる二つの意見を比較し、どちらも異なる自分の意見を述べている。

ウ 複数の具体例を分析し、そこから共通点を取り出して自分の主張につなげている。

エ 問いを立てて自分の考えを示し、その正しさを示すための説明を展開している。

オ 自分の主張を述べたのち、その根拠となる具体例を挙げて説得力をもたせている。

カ 自分自身の体験を述べたのち、それを一般化することで客観性のある主張をしている。

(五)

次の文章は、本文を読んだある生徒の感想をまとめたものであるが、文の順序を入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからカまでを並び替えるとき、二番目、四番目、六番目にくるものをそれぞれ選びなさい。

ア 確かに、一般の人が写真を容易に加工できるようになったのは、スマートフォンによって画像加工アプリが普及したからでしょう。加えて、SNSによって写真をシェア・共有することが容易になり、自分が発信する写真の見えを少しでも良くしたいという欲求が生まれたのだらうと思います。

イ シェアする相手によっては、事実を留めておきたいという思いが優先される場合もあるからです。また、筆者がSNSの写真を一くくりにして「SNS写真独特の美学」と言っている点にも違和感をもちました。ですが、見る人に喜んでもらうために、見た目のインパクトを強めたい場合はあると思います。

ウ 第四段落に、SNSによって写真は「見る」ものから「処理」するものになったとあるのは、そういうことなのでしょう。ただ、「SNSの写真には、日常の記録や思い出の保存というだけではなく、むしろそれ以上にユニークな見た目であることが求められる」という筆者の主張は、少し極端な気がします。

エ 実際、インフルエンサーと呼ばれる多くのフォロワーをもつ人たちは、フォロワーが期待する「エモさ」を追求し、インパクトのある写真を掲載することがあると思います。そのことは、SNSの登場によって、写真に「見る者の情動を引き出す」という新しい役割や目的が加わったことを示していると思います。

オ 私の父が子供の頃は、デジタルカメラはまだ普及しておらず、写真といえばフィルムカメラだったそうです。デジタルカメラが普及してからも、写真のデータに手を加えることは、「プリクラ」は別として、簡単ではなかったようです。カ 筆者は第五段落でその仮説を述べています。続く第六段落で私がおもしろいと思ったのは、見る者の情動を引き出すためには逸脱した見た目を作る必要があるが、逸脱と認識するためには何がオリジナルかを共有している必要があるという点です。

二 次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の文中の傍線部①、②に用いる漢字として正しいものを、それぞれあとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

彼は将来を シヨク ① ボウ ② されている。

- ① ア 飾 イ 触 ウ 職 エ 囁
- ② ア 忙 イ 望 ウ 紡 エ 膨

(二) 次の文中の傍線部と同じ意味で用いられている漢字を、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

真相を明らかにする。

- ア 弁明 イ 光明 ウ 賢明 エ 未明

(三) 次の文中の「A」にあてはまる最も適当なことを、あとのアからエまでの中から選びなさい。

徒歩での通学は健康によく、家計にも優しいので「A」だ。

- ア 一長一短 イ 質実剛健 ウ 一挙兩得 エ 空前絶後

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。
〔本文にいたるまでのあらすじ〕

「わたし」(永瀬)と学校の人気者の高峰は、小学校からの同級生である。中学三年生の一学期に、高峰の親戚である木下しずくが隣のクラスに転校してきた。「わたし」としずくは、美術教師の田村先生のひきあわせて、言葉を交わすようになっていた。

〔本文〕

- ① 三学期になると、美術の授業が二クラス合同になった。結婚して、杉村から田村という名になった先生が、黒板に「卒業制作」と大きく書く。ひとり十センチ四方の木版を彫刻刀で彫り、それを組み合わせたレリーフを体育館の壁に飾るという。「四人一組の班をつくってもらいます。ひとつの班で、ひとつのモチーフを彫る」田村先生は黒板に、模造紙をはり出した。日本の文様、という文字の下に、さまざまな模様が描かれている。着物の模様だな、とわたしは思った。ばあちゃんの手ぬぐいやん、と誰かが言い、小さな笑いが起こった。「これは一例ですが、日本の文様には、さまざまな意味があります。たとえば青海波。これはどこまでも続く波を意味します。未来永劫平穩に、という願いが込められています」七宝は「円満」、亀甲は「長寿」、矢絣は花嫁衣装などに用いられます、と田村先生は次々に文様を指しながら説明する。
- ② 「先生、それって、日本のそういう、着物みたいなやつじゃないとダメなんですか？」高峰が手を挙げて質問した。「いいえ、それ以外でもいいです」ただしドクロ柄とかはだめですよ、と田村先生が言い、また笑いが起こる。班決めの時間になり、わたしは友人たちと相談し合ったけれども、ふだん一緒にいるのが五人なので、ひとりあぶれる。どうし

よっか、と言いながら、内心ではみんな自分だけは嫌だ、と思っている。高峰が森くんを連れて、こちらにやってきた。「永瀬、おれらのところに入って」「え、なんで」「おまえ美術やる？」友人たちは「いつてらっしゃい」とあっさり手を振る。全員ほっとした顔をしていた。「女子ひとり、嫌なんやけど」「あいつがおるやろ」高峰が「わたしには関係ありません」とばかりに机に伏せているしずくを指さした。「しずく」顔を寄せて名を呼ぶと、しずくはのろのろと顔を上げた。「班に入ってくれへん？ お願い」同じ班になることについて、喜びはせずとも断りもせずにあとをついてくるので、嫌ではないのだろうと思う。

- ③ モチーフについて各班で話し合っただけならいいのだが、高峰は「彫りやすいやつでええんちゃう、チェックとか。縦横まつすぐ彫ればええだけやんか、それなら」なんて適当なことを言い、森くんは曖昧にほほえんでいるだけだ。「なんか、希望ある？」わたしの質問に、しずくは答えない。うつむいて、じっとしている。男子ふたりのほうを見ようともしない。気まずい空気が流れ出したので、わたしはスケッチブックを開いた。しずくの似顔絵でも描いてやろうかと思いたち、考え直して、^②半型を大きく描いた。目と口を描き加え、手足を生やす。「なにそれ」森くんがのぞき込んできた。「今考えたキャラクター」しずくちゃん、と絵の下に書いて、破りとしてしずくに手渡す。「あげる」「いや、いらんやろ」高峰は笑ったが、しずくはその絵をじっと見つめて、ほんとうにもらっていいの？ と問い返した。「いいよ、もちろん」

④ 各班の様子を見てまわっていた田村先生が、わたしたちに近づいてくる。しずくが持っていた絵に目を留めて、ティアドロップですね、と話

しかけてきた。「ジュエリーなどによく用いられるモチーフです。そうですね、高峰くん」ええまあ、と高峰はもつともらしくなずいてはるが、ほんとうは知らないのかもしれない。「③」。「古代、雨は神々が流す涙であると考えられていました。雨の聲はあつまって川となり、海へと流れ込み、やがて空にのぼって行く。その繰り返ししが『永遠』を意味する、という説があります」「永遠」森くんがぼそぼそと繰り返す。ええやんそれ、と高峰が身を乗り出した。「おれらの班、それにしよう」「いいですか？ 先生」森くんが田村先生を見上げる。「永遠さんと木下さんがいいのなら」

5 でも、永遠ってなんなんだろう。雨は循環しているかもしれないけど、人は変わっていくし、いつかは死ぬ。現にわたしたちは、もうすぐ中学を卒業する。「永遠って、なんですか？ 先生。そんなもの、あるんですか？」たまたま一瞬静かになったタイミングだったのだろうか。わたしの問いは美術室に響きわたり、一斉にみんながこちらを見た、気がした。エイエンツテナンデスカセンセイ、と西浦が甲高い声でまねをして、数人が笑った。「永遠は永遠やる。ずっと続くってこと」「辞書でもひいとけ」誰かが馬鹿にしたように鼻を鳴らした。わたしは下を向いてしまったので、それが誰の声かはわからなかった。おいやめるや、と高峰が低い声で言うと、美術室がふたたび静まり返った。

6 田村先生が黒板に「永遠」と大きく書いた。「きみたちは頭がいいですね。紆余曲折なしに、いきなり正解にたどりついてしまう。なんてスマートなんだろうと感心してしまいます」ちなみにスマートというのは褒めているという意味ではありません、かしこい、という意味です、と補足して、田村先生はかすかに笑った。「でも、それはあくまで子ども

のスマートさです。わからないものについて考え続けるのは、体力がいくことです。わからない、という思いをとどめておくこともね。わからない、わからない、とうなっている大人はかっこ悪いです。ほんものの知性ある大人というのは、あるいはそのような大人になる素質のある子どもは、かっこ悪く見えるものです」田村先生はそこで言葉を切って、わたしをちらりと見た。「ですが、ほんとうは美しいのです。わたしは愚直なまでにまっすぐに己の問いと向き合う人の姿は、とても美しいと思いますよ」

7 誰も、なにも言わない。たぶん教室の半分以上が、田村先生が言っていることの半分も理解できなかったのだと思う。かくいうわたしも、完全に理解できたとは言いがたい。「永遠がなんなのか、わたしにもわかりません」田村先生がわたしたちの机に近づいてきて「わかったら、教えてください」と小声で言い、離れていった。美術室にざわめきが戻り、わたしはこっそり大きく息を吐いた。高峰が「永瀬、お前は美しいらしい」と言った。からかうような調子ではなく、心底驚いているようにも見えた。それがまたきまり悪く、思わず下を向く。しずくが絵をいねいに折り畳んでポケットにしまうのを、視界の隅でとらえた。

(寺地はるな『零』による)

(注) ①⑦は段落符号である。

- レリーフ＝浮き彫り。
- モチーフ＝ここでは、模様を形作るデザインのこと。
- 未来永劫＝これから先の、限りなく長い年月にわたること。
- ジュエリー＝宝石類。
- 紆余曲折＝こみいった複雑な経過をたどること。
- 愚直＝正直いはずなこと。ばか正直。

(一) あっさり手を振る とあるが、その説明として最も適当なものを、

次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 「わたし」としづくが同じ班になるように気を遣っている友人た

ちが、それとはわからないようにふるまっているということ

イ 「わたし」が高峰と同じ班になることで、口が悪い高峰から離れ

て安心して女子だけで卒業制作に取り組むということ

ウ 「わたし」が外れることによって班が決まるため、ふだん一緒に

いる四人の友人がみな自分の都合を優先したということ

エ 「わたし」は卒業制作に対する思い入れが強く、それほどもな

い友人たちとの間に気持ちの上での温度差があるということ

(二) ② 乗型を大きく描いた とあるが、このときの「わたし」の心情の

説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 高峰以外は自分からアイデアを出そうとしないため、自分が手を

動かすことで他のメンバーの意見を引き出そうと思っている。

イ 森くんが意見を言わないために高峰のわがままが通ってしまう可

能性があり、早く別のアイデアを示さなければと思っている。

ウ 班に入るよう誘われたことを内心喜んでいるのに、高峰や森くん

を無視するような態度をとるしづくを腹立たしく思っている。

エ しづくの名前にちなんだ親しみやすい絵を描くことで、話し合い

が進まず互いにしづくりしない気分を変えたいと思っている。

(三) 「③」にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの

中から選びなさい。

ア 目が泳いでいる イ 目がくらんでいる

ウ 目が据わっている エ 目が点になっている

(四) 第六段落と第七段落における田村先生と「わたし」の思いの説明と

して最も適当なものを、次のアからカまでの中からそれぞれ一つずつ

選びなさい。

ア 田村先生は、永遠とは何かという問いを発した「わたし」の純粹

さと素質の高さに驚き、この問いに答えられる賢明な大人に成長し

てほしいと願っている。

イ 田村先生は、難しい問題でも正解できるかしこさに加えて、わか

らない問題については考え続けようとする粘り強さを生徒たちに身

につけてほしいと願っている。

ウ 田村先生は、大人になってもわからないものについて考え続ける

姿勢が大切であり、そうした姿勢をもつ人はかっこいいのだと生徒

に伝えたいと願っている。

エ 「わたし」は、自分が不用意に発言したことをきっかけとして、

美術の授業が田村先生の意図とは異なる方向へ進んでしまったこと

に申し訳なさを感じている。

オ 「わたし」は、自分が何気なく発した問いを田村先生が受け止め

てほめてくれただけでなく、高峰にも先生の気持ちが伝わっている

ことを恥ずかしく思っている。

カ 「わたし」は、高峰が教えてくれるまで田村先生が自分をほめて

くれたことに気づかず、先生の話半分も理解できなかった自分の

未熟さを自覚している。

(五)

登場人物についての説明として適当なものを、次のアからオまでの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 永瀬は、人の気持ちに敏感で、周りの人間の気持ちを常に推し量っている。また、苦手意識のある相手に対して親切にすることができず、そうしたことがあるたびに自分を責めて落ち込んでいる。

イ しずくは、他人との関わりを自分から遠ざけている面がある。しかし、永瀬が描いた筆型のキャラクターの絵に見入り、丁寧に扱っていることから、感性の乏しい人間というわけではない。

ウ 高峰は、思考や行動がわりと単純で、思ったことをすぐ口にしたリ、行動に移したりするところがある。一方、正義感が強く、人を傷つける言動をした人間をはつきりとたしなめることができる。

エ 森くんは、高峰の後についていくような、おとなしい性格の持ち主である。高峰の言いなりになることが多く、卒業制作にも前向きではない。しかし、高峰とは対照的に、思慮深い面もある。

オ 田村先生は、常に穏やかな口調で生徒を諭し、生徒の意見を否定することのない、思いやりがあつて柔らかな美術教師である。また、自分以上の才能をもつ生徒を率直に認め、ほめることができる。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

安居院の正安寺、常に宗旦と交り厚かりしが、庭に妙蓮寺と云ふ椿咲
安居院の正安寺の住職 妙蓮寺という品種の椿

き出でしを、新発意に持たせ、宗旦へ贈りしが、道にて花落ちけるを、
小僧

ぜびなく持ち行きて、「この花途中にて落とすつるよ、このこと老僧に
どうしようもなく

告げなば、本意なきことにせむ。無沙汰になしたまへかし。」と倍びけ
告げたら、何事もなかったかのようにして困って頼み込んだ

れば、宗旦直に出合い、「よくこそ申されたれ。暫く待ちたまへ。」
とこそ

とて、今日庵の掛け物をはづして、利休が作の園城寺と云ふ一重の花
園城寺という名の

入れをかけて、その枝を入れて、落ちたる花を下に置き、新発意を招き
オ

いれ、薄茶点じてかへしぬ。

薄茶をたてて

(『閑夜茶話』による)

(注) ○ 宗旦 千宗旦、わび茶を完成させた千利休の孫。

○ 今日庵 千宗旦の作った茶室。

○ 薄茶 抹茶の量を少なくして濃茶より薄くたてた茶。

(一) 波線部アからオまでの中から主語が同じものを二つ選びなさい。た
だし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

(二) 本意なきことにせむ とあるが、その内容として最も適当なものを、
①

次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 自分が故意にやったと思われる。

イ 宗旦に迷惑をかけてしまう。

ウ 花の美しさが損なわれる。

エ 老僧をがっかりさせてしまう。

(三) 落ちたる花を下に置き とあるが、宗旦のこの行動の意図として最
も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 発想を変えて枝から落ちた花の美しさを生かそうとした。

イ 花の命に光を当てることで仏の救いを得ようとした。

ウ 自分の失敗を認めたくない小僧の成長を促そうとした。

エ 散ってしまった花を大切に扱って心の広さを表そうとした。

(四) この文章の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中か
ら選びなさい。

ア 宗旦は贈られた花の姿形に落胆したが、その花に込められた贈り
主の気持ちを理解して茶室に飾った。

イ 宗旦は花の贈り主の思いだけでなく、その花を運んできた者の気
持ちもくみ取って一服の茶によって応えた。

ウ 宗旦は誰もが知る有名な花入れをどのような客の茶席でも惜しげ
なく披露し、常に最高のもてなしを心がけた。

エ 宗旦は利休が作った貴重な花入れであることを伏せて、花の美し
さによって茶室が引き立つようにした。

(問題はこちらで終わりです。)